



ミス日本とは

ミス日本コンテストは、**日本らしい美しさ**を備えた女性を育成・輩出し、より良い社会を築くことを目指しています。

1950年に第1回が開催され、日本で最も歴史あるコンテストです。審査では外見はもちろん、**教養などの内面や、将来の目標への努力・行動を重視**しております。そのため、出場者には日本の歴史や道徳、お能やお茶、浮世絵など30講座にも及ぶ勉強会が提供されており、**育成の性格を持ったコンテスト**です。

これまで芸術、学問、ビジネス、政治、アナウンサーや女優、モデルなど様々な分野で活躍する女性を多数輩出しており、受賞者たちの将来に期待がかかります。

2026 ミス日本「水の天使」



水の広報官として、自然の恵みにもたらされる水循環と豊かで清廉な水を守る人々の心と技に触れて、培った知識と体験を広く伝え、社会に参加する人々の水への意識を高めます。

※「21世紀の下水道を考える会」協議会と一般社団法人日本水道工業団体連合会によって2012年より創設。



志村 美帆 SHIMURA Miho

「将来は法律で人々の役に立ちたい」

慶應義塾大学で法律を学ぶ大学生です。幼少の頃から家族の影響で音楽や舞台鑑賞に親しんでいます。ヴァイオリンは2歳から祖母に習っており、福祉施設へ訪問して披露するなどしています。舞台鑑賞の対象は多岐に渡り、演奏会やミュージカル鑑賞はもちろん、歌舞伎やお能なども積極的に鑑賞しています。特にミュージカルは縁があって小学生の時に「1789 バスティーユの恋人たち」に子役として出演機会がありました。フランス革命を題材とした舞台に出たことをきっかけに、実際にパリに1週間の訪問しています。舞台には下水道のシーンもあったこともあり、パリでは下水道の見学に参加しています。帰国後に小学校の社会科見学で処理場見学があり、においや衛生面において日本の優れた上下水道インフラ技術を感じたとお話しています。

法律で人の役に立つため、大学では勉学の日々です。司法においては現時点では検察官に興味を持っていますが、かつてのパリでの経験のように、現地で見て聞いたことを元に、自らの道を決めていきたいと話しています。



生年月日	2006年 6月15日生まれ
出身地	東京都
職 業	慶應義塾大学法学部法律学科1年
サイズ	T 162 Shoes 23.5
特 技	ヴァイオリン/ダンス/百人一首
趣 味	舞台鑑賞/歌うこと/クレープ作り
将来の希望	法律を学び、困難に直面する人々の役に立てる職業に就く
座右の銘	蒔かめ種は生えぬ